

テレビ&ラジオ

「3・11大震災シリーズ」放送中

被災地の局などが制作

NNNドキュメント

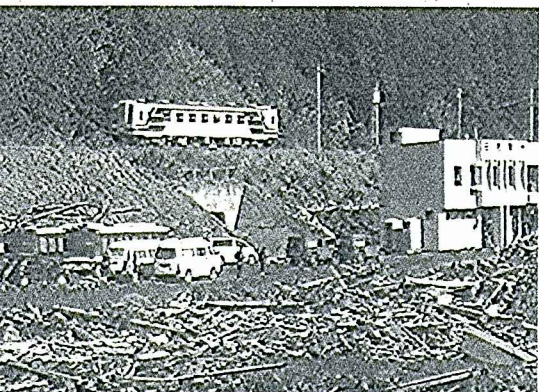
日本テレビ系列各局が制作するドキュメンタリー番組「NNNドキュメント11」（日曜深夜0・50）は、東日本大震災が発生した3月から、特集企画「3・11大震災シリーズ」を放送している。系列各局が未曾有の大災害を独自の視点で映像に記録し続けている。

（井上晋治）

シリーズは、3月20日に第1弾を放送。以後、月に3本ペースで放送している。「被災地の地元局は日々のローカルニュースの取材も多忙。そのため、編集作業は東京で行ってもらうなど、協力体制を取っている」と、日笠昭彦プロデューサーは話す。

今月はテレビ岩手、日本テレビ、テレビ新潟がそれぞれ制作したシリーズ5〜7を、12日から3週連続で放送する。

テレビ岩手は12日に、壊滅的被害からの復旧を目指す三陸鉄道を取り上げた「がんばれ三鉄」を放送する。同局の

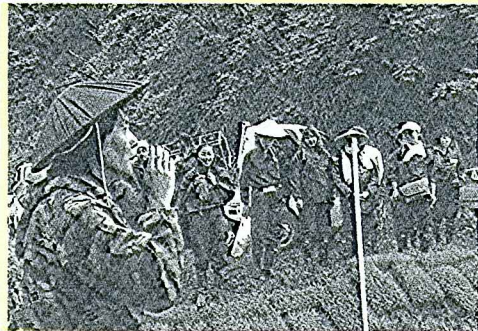


シリーズ企画は3本目。釜石市の旅館経営女性の苦闘を取り上げた4月10日の番組では、自らも震災で肉親を失った釜石報道部員が取材して伝えた。遠藤隆プロデューサーは「取材とカメラ撮影を報道マンが1人で兼務するなど、皆が被災地の今を伝える強い使命感を持って取り組んでいる」と強調する。

19日に時間を拡大して放送する日本テレビ制作「原発爆発」は、シリーズで初めて福島第一原発事故を取り上げる特集。事故発生から日々のストリートニュースを中心に報じてきた同局報道部の「原発班」が、4月から本格的に企画の取材を重ねてきた。

福島第一原発と同タイプの米国の原発が30年前から電源喪失を想定したバックアップ体制を敷いていた事例などを引き合いに、原子力の専門家や東京電力元幹部らのインタビューを紹介。事故がなぜ防げなかったのかという疑問に迫る。案内役は、原子力に詳

テレビ新潟は、新潟県中越地震の被災地に都会から移住したボランティア・多田朋孔さん（左端）らの活動から震災復興の在り方を問う（「大地のリレー」より）



があると考えていた。福島第一原発の事故は新事実が次々と明らかになっており、今後

も継続して様々な角度から番組で検証したい」と語る。

26日放送のテレビ新潟制作「大地のリレー」被災地に移住する若者たちは、2004年の新潟県中越地震で被災した十日町市池谷集落に、都会から生活拠点を移したボランティアの男性の姿を通して、被災地の復興の在り方を問う。

長期化も予想される同シリーズについて、日笠プロデューサーは「ドキュメンタリー番組はゴールを予測して制作しがちだが、被災地の課題は長期的視野が求められるものばかり。根気強く追いつけた」と意気込む。

アジア映画2作をCSで放送

CS放送の「アジアドラマチックTV★Sone」は、国内のテレビ初登場となるアジア映画2作品を、8日夜から放送する。

国際映画祭で最優秀アジア映画賞を受賞した。

09年のインドネシア映画「夢追いかけて」（11日午後11時30分ほ

か）は、鉦山労働者の父を持つ主人公の少年ら

親友3人の成長物語。米映画「

スタンド・バイ・ミー」のインド

ネシア版とも評された作品は、



9時30分ほか）は、宝くじで大金を引き当てた